

和合亮一さんと歩く

おとなの遠足

第4回

会津の綿／綿

江戸時代にはじまる会津と綿／綿のお付き合い。
明治以降近代化が進み現在は3つの織元が
生産を続けています。昭和初期の織機が迫力ある
工場見学と糸作りを体験します。

12月20日(土)
13:00~16:00

リーダー／和合亮一さん(詩人)
ガイド／NPO法人はるなか綿／綿部会員
集合場所／末廣酒造嘉永蔵 駐車場
(会津若松市日新町12-38)

会場／山田木綿織元、末廣酒造嘉永蔵
参加費／1,000円

定員／20名(申込制・先着順)
*定員になり次第締切ます(最終申込:12/18)

おとなの遠足 報告会

小田山の桜、青木山の自然、会津の漆、会津の
綿／綿。歩いて、見て、感じて、作って。楽しく学ん
だおとなの遠足の感想を和合さんにお聞きし
ます。

2026年
2月15日(日)
10:00~12:00

リーダー／和合亮一さん(詩人)
会場／ヒューマンハブ天寧寺倉庫
(会津若松市天寧寺町7-38)

参加費／無料
定員／30名(申込制・先着順)
*定員になり次第締切ます(最終申込:2/13)

和合亮一さんと歩く

おとなの遠足



参加者募集!

NPO法人はるなかは、江戸時代の会津藩の名家老・田中玄宰(はるなか)の事績に学びながら会津の活性化に取り組んできました。本年度で設立20周年を迎えるにあたり、これまでの活動を踏まえより開かれた未来志向の事業を行います。

その一環として、詩人の和合亮一さんを迎え、和合さんと共に会津の歴史・文化・自然に触れる全4回+1の連続イベントを開催します。各回のテーマに合わせ和合さんをリーダーとして参加者の皆さんとテーマに関わる場所を訪れ会津の魅力に触れるおとなの遠足(エクスカーション)です。案内するガイド役は専門家やNPO法人はるなかの会員。第4回のテーマは「会津の綿／綿」。NPO法人はるなか綿部会長の山田悦史さんの案内で山田木綿織元の工場を見学した後、末廣酒造嘉永蔵の一室で綿から綿糸を紡ぐワークショップにご参加いただきます。会津木綿の江戸から近代、そして現代の歴史と魅力をお楽しみください。

2026年2月に開催する報告会では、おとなの遠足で参加者の皆さんと会津の歴史・文化・自然に触れた和合さんに、全4回で感じた会津の魅力をお聞きます。

和合さんと楽しく学ぶおとなの遠足。皆様のご参加をお待ちしております。



●申込方法

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

メールまたはFAXの場合は、参加希望者氏名、電話番号、同行者がいる場合は同行者氏名をご記入ください。

E-mail: harunaka20050401@gmail.com

FAX: 0242-28-6428

QRコードを読み込みgoogleフォームでお申し込みください。



●お問い合わせ先

〒965-0876 会津若松市山鹿町1-10(日本精測株式会社内)

TEL: 090-9634-1774

和合亮一

1968年福島県生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞、萩原朔太郎賞、

みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞など受賞多数。2011年、

東日本大震災直後の福島からTwitterで連作詩『詩の礫』を発表し続け、

2017年7月、詩集『詩の礫』がフランスにて翻訳・出版され、

ニュンク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。

フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初となり、国内外で大きな話題を集めた。

昨年に英訳詩集『SINCE FUKUSHIMA』が全米文学翻訳賞の最終候補にノミネートされ、

国際的な評価が高まる。福島県教育復興大使、福島大学応援大使、

福島県文学賞選考委員、萩原朔太郎賞選考委員などを務める。

NPO法人はるなか

会津の産業を保護奨励し現在につながる会津の伝統文化の礎を築いた会津藩の名家老・田中玄宰の事績に学びながら、会津の歴史、文化、自然を守り発展に寄与することを目的に、桜・漆・綿／綿・自然環境・地域活性化の各部会が活動しています。